

2019 年度日本農業経済学会第 2 回常務理事会議事録

日時：2020 年 4 月 6 日（月）～10 日（金）（第 1 段階稟議）

2020 年 5 月 21 日（木）～25 日（月）（第 2 段階稟議）

於：メールによる稟議（新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時措置）

出席：草苺会長、堀田総務担当副会長、山本編集担当副会長、南石企画担当副会長、櫻井国際担当副会長、西川会長補佐常務理事、草野総務担当常務理事、関根学会賞・国内学術交流担当常務理事、原田財務担当常務理事、角田情報担当常務理事、安藤和文誌編集担当常務理事、梅津英文誌編集担当常務理事、栗原企画担当常務理事、木島国際担当常務理事、井元大会開催校担当常務理事、黒瀧北海道地区担当常務理事、槇平中部地区担当常務理事、多田近畿地区担当常務理事、大呂九州地区担当常務理事、酒井北陸地区担当常務理事、保永中国地区担当常務理事、胡四国地区担当常務理事

欠席：無し

事務局：共立

1. メールによる臨時の常務理事会開催について

- ・草苺会長より、4 月 6 日（月）に常務理事会構成員に対して以下の提案があり、承認された。
 - 1) 新型コロナウイルスへの感染が拡大する状況を受け、常務理事会及び理事会をメール稟議で開催する。
 - 2) 緊急時の対応として、理事会の決定をもって次回の総会開催まで暫定的に学会の運営を図り、次回の総会開催時に暫定運用についての承認を得る。
- ・第二回常務理事会は、2 段階に分けて実施された。

2. 第 1 段階稟議

【審議事項】

- ・2020 年度延期大会（東北大学）は中止することが決定された。
- ・新理事候補者については理事会の承認をもって暫定的に新理事として承認することが承認された。
- ・2019 年度決算（案）、2020 年度予算（案）が承認された。
- ・2020 年度延期大会のシンポジウム・個別報告等の扱いは以下の様に決定された。
 - 1) 各シンポジウムは中止する。
 - 2) 個別報告と特別セッションは見なし報告として扱う。学会誌への掲載は従来どおりとし、原稿・投稿締め切りは編集委員会が、『大会報告要旨』の取り扱いには企画及び編集委員会と財務担当常務理事が決定し、会員へ通知する。

3. 第2段階稟議

3.1 2020年度東北大学大会について（企画、開催校、連携、総務）

【報告事項】

- ・5月末に延期開催の予定であったが、新型コロナウイルスが終息する見込みがなく、開催校（東北大学）の施設使用許可が下りないため、常務理事会において開催の中止が決定した（4月10日付）。
- ・大会中止に伴い、口頭報告、ポスター報告、特別セッションについては、要旨集の公開をもって報告したものとみなすこととなった。なお、申込件数は下記の通りである。口頭報告88件、ポスター報告7件、特別セッション2件、取下げ3件（うち口頭2件、ポスター1件）、拡大企画委員会による却下数0件。
- ・ポスター賞については見送ることとなった。

【審議事項】

- ・次（々）期開催校について、2021年度を茨城大学、2022年度を龍谷大学とすることが承認された。

3.2 各担当業務報告

3.2.1 財務（2019年度決算報告）

【審議事項】

- ・2019年度決算書（案）が承認された。

3.2.2 学会賞・国内学術交流

【報告事項】

- ・日本農学会2019年度シンポジウムにおいて吉田謙太郎会員が講演を行ったこと、総会及び企画・運営委員会が開催されたことが報告された。
- ・日本経済学会連合と日本学術会議・第二部に関する活動が報告された。
- ・大会期間中の2020年3月に開催予定であった、農業経済学会関連学会協議会及び関連学会編集委員長会議の中止について報告された。

【審議事項】

- ・学術賞として、李哉法・森嶋輝也・清野誠喜会員による「EU青果農協の組織と戦略」（日本経済評論社、2019年）が選考委員会で選出されたことが報告され、承認された。

3.2.3 情報

【報告事項】

- ・『農業経済研究』89 巻、91 巻 1・2 号（早期公開）及び英文誌 JJAЕ Vol. 21 の論文が J-STAGE 上で公開されたことが報告された。
- ・学会 HP のリニューアルの必要について、及び転載依頼に対する学会としての対応方針の検討の必要性について報告された。

3.2.4 総務

【報告事項】

- ・2020 年度東北大学大会中止に伴い、希望者には個別報告実施証明書を送付することが報告された。
- ・関東地区理事会構成校から選出されていた総務担当常務理事のローテーションについては、2020 年度からの新たな選出ローテーションによる選出を断念した。2 巡目以降はローテーション自体を廃止し、総務担当副会長の責任の下で地域にとらわれずに選出する方向で、次期体制への引き継ぎ事項とすることが報告された。
- ・『農業経済学事典』の契約を行ったことが報告された。
- ・学会の財務体質改善及び、地区選任理事の選出方法の改善の必要性について報告された。

【審議事項】

- ・次期総務担当常務理事候補を推薦することが承認された。
- ・名誉会員の候補者が推薦され承認された。

3.2.5 編集

【報告事項】

- ・和文誌及び英文誌の投稿・採択数の報告があった。
- ・より多くの質の高い論文を JJAЕ へ投稿してもらうための方策が提示された。
- ・編集委員の交代について報告があった。

【審議事項】

- ・「農業経済研究」投稿規程の改正が承認された。
- ・学会誌賞として、①李哉泫・森嶋輝也・清野誠喜会員による「組織再編のプロセスから見た欧州農協の展開構造—スペイン・アルメリアの野菜農協のケース・スタディー」（『農業経済研究』第 91 巻第 2 号掲載）及び、②柘植徳雄会員の「経済理論の展開と農業」（『農業経済研究』第 91 巻第 3 号掲載）が選考委員会で選出されたことが報告され、承認された。

3.2.6 国際

【報告事項】

- ・2020年8月に予定されていたアジア農業経済学会・北京大会の2020年末から2021年頭への開催延期について報告された。
- ・新型コロナウイルス感染症の今後の不透明なため、2020年7月に開催予定だった韓国農業経済学会における韓日シンポジウムの中止と、2021年の実施について報告された。

【審議事項】

- ・アジア農業経済学会・北京大会への拠出金支出が承認された。
- ・日韓交流協定の改正が承認された。

3.2.7 連携

【報告事項】

- ・2020年度東北大学大会中止のため、予定されていた特別シンポジウムも中止となったことが報告された。

【審議事項】

- ・連携委員会規程の改正が承認された。

3.3 2020年度予算案について

【審議事項】

- ・2020年度予算（案）が承認された。

3.4 総務担当からの連絡事項

- ・2020年度第1回理事会（5月27日～31日：メール審議）及び、その後の新理事会の開催案内があった。
- ・2019年度会員数（正1,058人、名誉47人、学生123人、購読10人、合計1,238人）及び入退会の状況（入会68人（正17人、学生51人））が報告された。

以上。

草野（総務担当常務理事）・西川（会長補佐常務理事）作成